

「市長への手紙」HP掲載データ（令和5年12月分）

見出し	0512-13 水産業及び食料危機
ご意見	水産業の減退化及び食糧危機に関する懸念について
回答	<p>まず、水産業の現状についてですが、当市の主力魚種のサケ・イカの水揚げは、過去最低水準とも言える厳しい状況が続いており、漁業者のほか、久慈市漁協・仲卸業者・加工業者などの関連業者の皆様も、不漁と連動して苦しい経営状態にあると認識しております。</p> <p>市といたしましても、全国的に水産資源が減少している中、久慈市漁協が実施しているギンザケ養殖等の「つくり育てる漁業」に対する支援の実施により、水揚げ確保に努めているところであり、加えて、新型コロナウイルス感染症や燃油価格・物価高騰の影響を受けている漁業者や関連事業者の皆様を支援するための、各種給付金事業を実施し、不漁に伴う当市水産経済の落ち込みを支えてきたところです。今後におきましても、漁業関連業者の方々の経営が安定するよう、できる限りの支援に努めます。</p> <p>次に、食糧危機問題につきまして、近年の急激な地球温暖化は、農作物の生育不良や病害虫被害の拡大、乳用牛の乳量や乳成分の低下、肉用牛等の家畜の生育や肉質の低下などに影響を及ぼしているところです。</p> <p>市といたしましては、これらの問題への対応として、農作物における適正品種を選択や病害虫の徹底防除、家畜における暑熱対策技術等の導入が必要であると考えており、生産者との意見交換を通じて現況を把握するとともに、国や県に対して、適応技術等の普及指導を要請してまいります。</p> <p>また、食糧危機問題は、国全体の案件として捉え対応すべき事項であるとも認識しております。特にも、日本の食料自給率は38パーセントと先進国と比較し、最低の水準であり、これを是正するための対策を講じることが急務であると考えことから、国に対しましては、食料生産基盤の強化支援など、様々な機会を捉え要望してまいります。</p>
担当課	林業水産課 電話：0194-52-2156